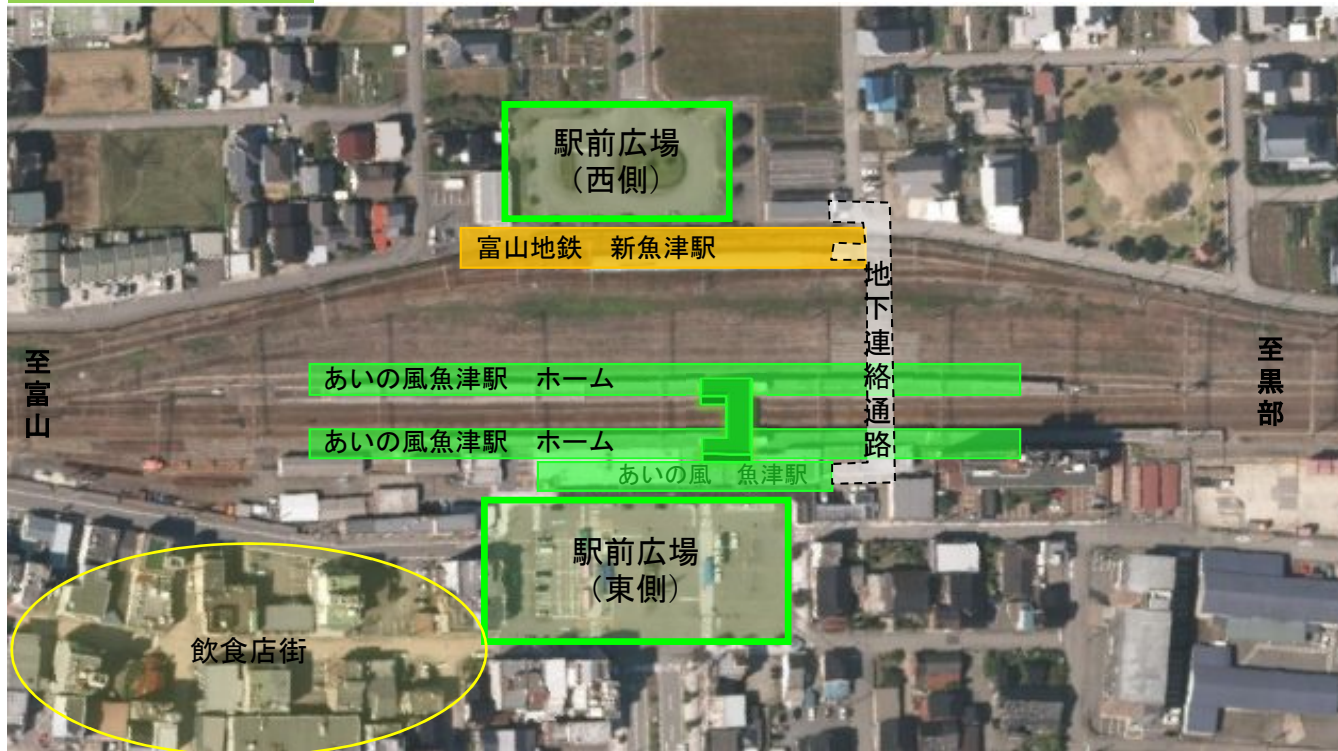


魚津駅(あいの風とやま鉄道)・新魚津駅(富山地方鉄道)の周辺整備について

1. 駅周辺の現状



- ・駅前広場(東側)と駅前広場(西側)は地下自由通路でつながっているが、移動距離が約150mと長い。
- ・鉄道利用者が両駅を乗換するには、この自由通路を移動する必要があり、新魚津駅にはEVがない。

2. 駅利用者アンケートの結果と必要な施設

平成22年、23年実施

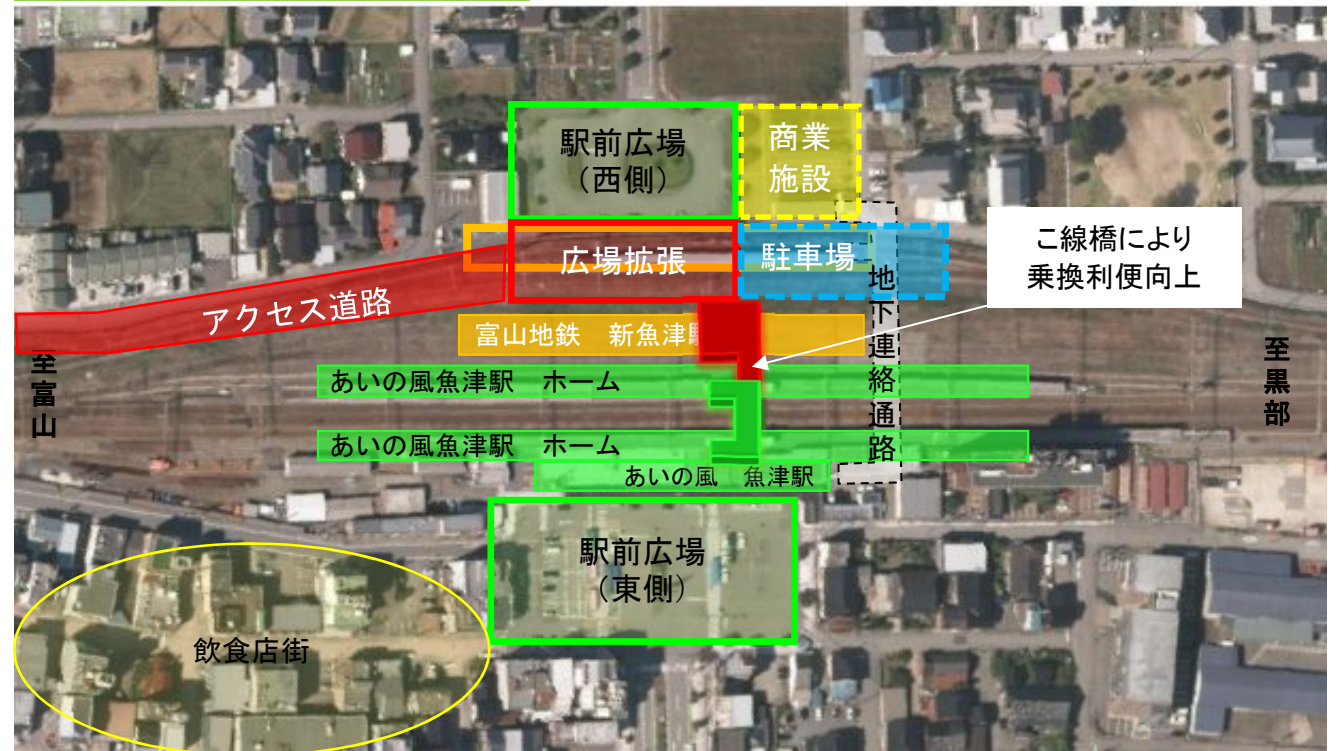
項 目		回答割合	駅周辺既存施設とニーズを 検討した結果必要な施設
駅利用の 問題点について	上下の移動が不便	約8割	
	移動距離が長い	約6割	
駅周辺に 求める機能	商業施設の充実	約4割	飲食店、ATM、コンビニ、薬局
	駐車・駐輪機能の充実	約4割	施設利用のための駐車場
	憩い・集いの空間機能の充実	約4割	観光・チケット案内所
	生活バス乗降機能の充実	約2割	バス運行ルートを増

3. 海沿いの観光施設について

- ・駅西側には市内の観光施設(年間観光客数合計93万人)が集中しており、観光の拠点として期待している。

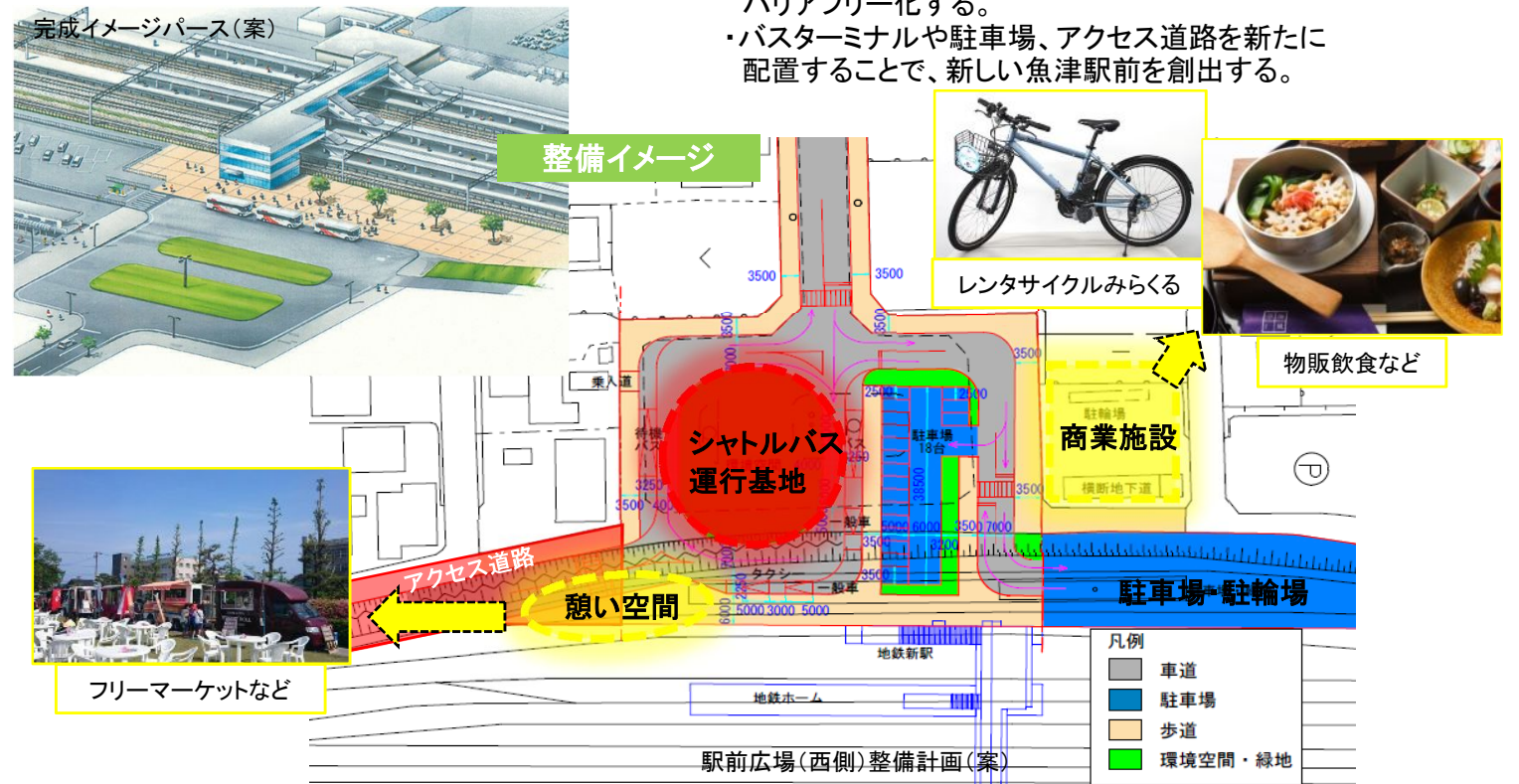


4. 駅周辺の整備計画(イメージ)



- ・鉄道利用者の乗換利便性向上のため、新魚津駅を魚津駅に近づけ、連絡通路で接続する。
- ・駅前広場を拡張し、アクセス道路を拡幅し、駅前駐車場を整備する。

- ・新魚津駅移設に伴いEV設置を行い、駅前広場をバリアフリー化する。
- ・バスターミナルや駐車場、アクセス道路を新たに配置することで、新しい魚津駅前を創出する。



5. 整備により期待する効果

- ・東西の駅前広場と鉄道両社の動線が繋がり、全ての人が利用しやすい駅前を創出する。
- ・公共交通などのターミナル機能が充実し、海岸沿いの集客施設の利用者が増える。
- ・魚津の新しい駅前を観光拠点として、イベントなど各施策と併せて情報発信することで、賑わいを創出する。
- ・整備された駅への来訪者が増える事により、駅前周辺や観光施設までの沿道商業施設が活性化する。